

歴史と文化のまちづくりを進め 広がる人々の思い・深まる絆



▲そのべ本陣夏祭りの準備をする竹中さん

時代の移り変わりとともに日々変わっていく園部の商店街。その一角、園部町本町と新町に、かつての山陰街道の面影を残す町並みが今も残っています。この地域では「人々の絆、地域コミュニティ」が希薄化している。歴史ある美しい町家や京都匠塾の職人を始め、とても良い職人が作る『ほんまもん』が埋もれている。」と感じ、「もう一度商店街の人、訪れる人が集えるところになりたい。自分たちが主体となり歴史と文化のまちを発信したい」という思いを持ち、活動されている方々がおられます。

「まちなかを再発見する会」の方も祭りを楽しんでおられました。今ではたくさんの方が本陣地域に目を向けられるようになり、人気の本陣ちまきづくりをはじめ、次の祭りの準備に向けて毎日のようにみんなで話し合うなど、商店街の絆も深まっています。



まちなかを再発見する会
代表
たけなか きよし
竹中 潔 さん

インタビュー

もちろん私も商店街の一員ですし、みんなの店、商店街がはやればいいと思っています。しかし、お金もつけただけでは続きません。祭りが成功したときのみんなの顔、元気にはしゃぐ子どもたちの声、「もう一度来たい」などの声があるからこそ続けられています。

祭りなんて大きなことは一人でできるものではないですし、街のみんなに支えられて準備や企画をしています。この本陣地域の人たちは誰が欠けても祭りができない。そんな大切な人たちがばかりなんです。